

大学院博士後期課程 研究指導計画

時期	項目	内容・目的等	
入学前	研究指導教員の決定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以下の内容により専攻における指導教員を決定 (1) 入学試験の選抜結果（合否判定）と指導教員案の確認 (2) 研究希望分野や研究計画案の確認 	
1 年 次 （ D 1 ）	4月上旬	研究指導計画の説明 （ガイダンス） 個別研究指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導教員の紹介、自己紹介、ガイダンスを実施します。 ・ 前期ガイダンスでは、研究指導計画を学生に示しながら、具体的な研究指導の方法、研究指導計画について説明します。 ・ 学生と指導教員による個別研究指導を行います。
	5月上旬	研究計画書の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生は博士課程での研究計画を作成し、指導教員に提出し、指導教員は学生との面談のうえで計画内容の補正を行います。
	通年		<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究計画書に基づき、研究活動を推進します。 ・ 指導教員と適宜打合せを行いながら、必要に応じて計画内容を見直します。 ・ 研究活動を通じて、院生、教員、学部学生らとの交流を深めます。 ・ 研究活動、成果に応じて、国内外の学会等において研究発表を行います。
	2月中旬	分野横断型工学研究シンポジウムに参加	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学院研究の集大成ともいえるシンポジウムに参加し、先輩方や前期課程の発表内容を聴講します。1年後に実施する発表に向けて参考とします。
	3月下旬	研究成果報告書の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 博士後期課程1年次の研究内容を整理した研究成果報告書を作成します。
2 年 次 （ D 2 ）	4月上旬	1年次研究成果報告書の提出 個別履修指導 （ガイダンス）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 博士後期課程1年次の研究内容を整理した研究成果報告書を工学研究科長に提出します。 ・ ガイダンスを実施します。 ・ 学生と指導教員による個別研究指導を行います。
	5月上旬	研究計画書（修正版）の提出	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生は1年次初めに作成した研究計画書について、1年間の研究活動を通じて変更が生じた内容を修正した研究計画書を提出します。指導教員は学生との面談のうえで計画内容の補正を行います。
	通年		<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究計画書に基づき、研究活動を推進します。 ・ 指導教員と適宜打合せを行いながら、必要に応じて計画内容を見直します。 ・ 研究活動を通じて、院生、教員、学部学生らとの交流を深めます。 ・ 研究活動、成果に応じて、国内外の学会等において研究発表を行います。
	2月中旬	分野横断型シンポジウム発表	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究内容を分野横断型工学研究シンポジウムにて、パワーポイント等による発表を行います。 ・ シンポジウムでの発表における専攻主任等からのアドバイスを以降の研究活動に反映させます。
	3月下旬	研究成果報告書の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 博士後期課程2年次までの研究内容を整理した研究成果報告書を作成します。

大学院博士後期課程 研究指導計画

時期	項目	内容・目的等
3 年 次 (D 3)	4月上旬 2年次研究成果報告書の提出 個別履修指導 (ガイダンス)	<ul style="list-style-type: none"> ・博士後期課程2年次までの研究内容を整理した研究成果報告書を工学研究科長に提出します。 ・ガイダンスを実施します。 ・学生と指導教員による個別研究指導を行います。
	5月上旬 研究計画書(修正版)の提出	<ul style="list-style-type: none"> ・学生は従来の研究計画書について、2年間の研究活動を通じて変更が生じた内容を修正した研究計画書を提出します。指導教員は学生との面談のうえで計画内容の補正を行います。
	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・研究計画書に基づき、研究活動を推進します。 ・指導教員と適宜打合せを行いながら、必要に応じて計画内容を見直します。 ・研究活動を通じて、院生、教員、学部学生らとの交流を深めます。 ・研究活動、成果に応じて、国内外の学会等において研究発表を行います。
	12月上旬 予備審査	<ul style="list-style-type: none"> ・本審査へ向け、主査・副査で予備審査を行います。その後予備審査での指摘を研究内容へ反映させ、本審査に備えます。
	12月中旬 博士論文審査申請	<ul style="list-style-type: none"> ・定められた期日までに、博士論文の本審査を申請します。
	1月 ～2月上旬 本審査	<ul style="list-style-type: none"> ・主査・副査により、博士論文・博士設計の本審査を行います。
	3月上旬 可否判定	<ul style="list-style-type: none"> ・工学研究科会議において、学位授与の可否が決定します。